



第124号 2015年7月

発行：萩ネットワーク協会
〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内
TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458
萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

主な内容

「明治日本の産業革命遺産」世界遺産に登録決定	P2
19世紀史のなかの長州〔番外編〕	P4
福栄文化財活用保存会長 小野興太郎(萩市)	P6
気になるお店紹介 工房 木象庵 藤田浩司	P7
懐かしいお店 レストラン デンスケ 河野傳次郎・久江(萩市)	P8

文久3年(1863)5月10日の攘夷決行の日、萩藩は下関で外国船に砲撃し、日本で唯一の攘夷決行をしますが、反撃に遭い大損害を受けます。敗戦を知った萩では、城下を自らの手で守ろうとする機運が高まり、6月に土塁の築造工事に着手、9月にほぼ完成しました。「女台場」と呼ばれるのは、参加するなど想像もできない武士の妻や奥女中までが派手な装いで工事に加わった姿が印象的に語り伝えられたからといわれています。

「萩女」の心意気を今に伝える

おなごだいば
～菊ヶ浜土塁(女台場)～



5月4日、世界遺産登録を目指す、萩市の萩反射、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、萩城下町、松下村塾の5つの資産を含む「明治日本の産業革命遺産」について、ユネスコの諮問機関イコモス（国際記念物遺跡会議）が8県11市の全23資産が世界遺産へ登録するのに相応しいと「記載」を勧告しました。

この勧告を踏まえ、6月28日から7月8日までドイツのボンで開かれている第39回世界遺産委員会で審議され、正式に世界遺産への登録が決定しました。

（記事は編集の都合上、6月末時点の内容です）

イコモス（ユネスコ諮問機関）が世界遺産として登録を勧告

産業革命遺産とは

幕末から明治末までの日本の急速な産業の近代化を物語る8県11市の23資産で構成。日本は非西洋の国で初めて、西洋の産業革命の技術を導入し在来の技術と融合させて、短期間のうちに産業化を成し遂げますが、これは、萩の若者たちをはじめとした多くの先人の努力の賜物であり、世界史上の奇跡といわれています。

これら産業化の過程を証明する一連の資産は世界遺産として価値があるとして、平成26年1月に政府からユネスコに推薦書を提出、その後、イコモスによる審査や、萩の5資産を含む23資産すべてでイコモス調査員による現地調査も

実施されました。

世界遺産に登録されるには

イコモスの勧告と世界遺産委員会の決議は「記載」「情報照会」「記載延期」「不記載」の4種類があり、今回の勧告は、世界遺産にふさわしいという最もよい評価の「記載」でした。国によると、過去5年にイコモスが登録を勧告し、世界遺産委員会で判定が覆った例はないとのこと、世界遺産登録への期待が大きく高まりました。

萩の産業遺産群

萩エリアは時代順に1番目のエリアで、萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、萩城下町、松下村塾の5つの資産

で構成されます。

萩エリアは、幕末に西洋技術を取り入れ産業化や産業文化形成の舞台となった地域の全体像と特徴をよく表しており、日本の産業化が世界トップレベルに到達したことを示している長崎や北九州エリアなどと比べると、わずか半世紀でいかに日本の社会景観が変化したのかをみる事ができます。

また萩エリアには産業化に関する地域の政治、行政、経済、技術、人材育成についての要素がすべて含まれており、萩の地域社会が直接の主体として産業化に取り組んだことを示しています。

萩市は平成18年から登録を目指して取り組んできましたが、世界遺産として登録されると、萩の魅力が一段と高まり観光振興にも大きく寄与することが期待されます。

イコモスの勧告の概要と評価

推薦案件の名称を「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」と変更した上で、「記載」勧告がなされました。

▼顕著な普遍的価値（世界遺産としての価値）について

九州・山口地域を中心とする一連の産業遺産群は、西洋から非西

洋国家に初めて産業化の伝播が成功したことを示す。19世紀半ばから20世紀初頭にかけて、日本は製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業を基盤に急速な産業化を達成した。一連のサイトは1853年から1910年までのわずか50年余りという短期間でこの急速な産業化が達成された3つの段階を反映している。

あつた。国防、特に海外からの脅威に対する海防を強化する必要から、各藩が西洋の技術書や西洋の事例の模倣により（直接ではなく）二次的に知識を得て伝統的な匠の技と組み合わせ、産業化を進めた。（内閣官房産業遺産の世界遺産登録推進室発表資料から一部抜粋）

問い合わせ

萩市世界遺産登録推進課
（08388・253380）

萩エリアの構成資産



恵美須ヶ鼻造船所跡

萩藩が伝統的な和船の技術を使って西洋式の軍艦丙辰丸、庚申丸の2隻を建造。丙辰丸建造には大板山たたら製の鉄を使用しました。



大板山たたら製鉄遺跡

砂鉄を原料に木炭を燃焼させて鉄を作っていた江戸時代の製鉄所跡。幕末期の西洋技術の導入は、たたら製鉄のような在来の匠の技術に支えられていました。



松下村塾

日本の近代化や産業化を進める上で重要な役割を担った数多くの人材を輩出しました。



萩城下町

萩藩の政治的・経済的拠点で近代化に取り組んだ封建社会がわかる町として今に受け継がれており、産業化初期の舞台となりました。

文や松陰になりきってみませんか？

『文と萩物語』花燃ゆ大河ドラマ館
ドラマの展開に合わせてリニエール！

大河ドラマの放送に合わせて、今年1月に旧明倫小学校校体育館に開館した、『文と萩物語』花燃ゆ大河ドラマ館。ゴールデンウィーク中の5月4日には入館者が10万人、さらに6月26日には15万人を突破するなど多くの方が来館されています。

7月から、ドラマの展開に合わせて、新たな衣装や小道具の展示等、展示内容を一部リニエールします。すでに来場された方も、もう一度大河ドラマ館に足を運んで、大河ドラマの世界を体験できる、グレードアップした展示を見にきませんか。

- 文衣装（子ども用もあります）や小道具
- 松陰の衣装や小道具
- ▽ **ドラマ中の「萩」** 文の結婚式や松陰の最後など、ドラマの萩に関わる名場面シーンを映像で紹介
- ▽ **その他** オープニング曲の歌詞と解説を掲示など

■ **問い合わせ**
萩市大河ドラマ推進室
(08388253139)



ドラマで松浦亀太郎が描いた「松陰肖像画」

▽ **松陰先生が遺した心** ドラマで使用した「留魂録」「永訣の書」「松陰肖像画」を展示し、松陰が塾生、家族に遺した遺言を紹介

▽ **新たな衣装でお出迎**
え ドラマで着用した、毛利敬親、高杉晋作、高須久子の衣装を展示

■ **開館期間** 平成28年1月10日(日)まで
■ **開館時間** 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
■ **ところ** 旧明倫小学校校体育館
■ **入場料** 大人500円、小・中学生200円、萩物語セット券(萩博物館、松陰神社宝物殿至誠館とのセット券)大人1,000円、小・中学生400円
■ **駐車場** (1回)普通車310円、大型バス1,030円
※詳しくは、ホームページを参照。
<http://www.city.hagi.lg.jp/fumi-hagi/>

明治日本の産業革命遺産
萩の5資産
シリーズII
萩反射炉



大正13年(1924)に国史跡に指定された萩反射炉

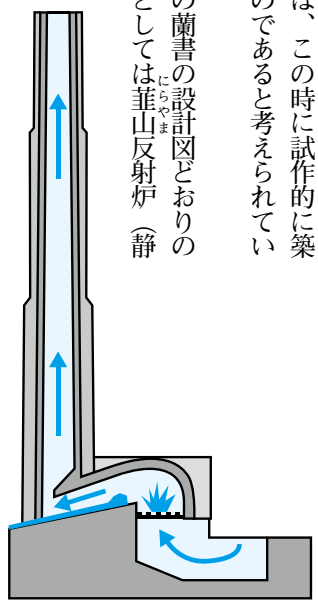
萩藩が自力での産業近代化を目指す中で
試作した金属溶解炉

萩反射炉(椿東前小畑)は、西洋式の鉄製大砲鑄造を目指した萩藩が安政3年(1856)に建設した反射炉の遺跡です。

■ **試行錯誤による産業化を示す**
鎖国状態にあった江戸時代、大陸に近い西南雄藩は、アヘン戦争での清国(中国)の敗戦やペリーの黒船来航により危機感を持ち、海防の強化に取り組みます。各藩は、わずかな蘭書の知識などを頼りに自力で、射程距離の長い鉄製大砲や大型の軍艦を建造しようとして試行錯誤しました。当時は鉄製大砲を建造するには、衝撃に弱い鉄を粘り気のある鉄に溶解する必要があり、その装置として反射炉を用いていました。

反射炉は、炉と煙突に大きく分けられます。燃焼室で焚いた燃料の炎と熱を浅いドーム形の天井に反射させて、溶解室に置いた原料鉄に熱を集中させて溶解させます。高い煙突を利用して大量の空気を送り込み、炉内の温度を千数百度にして、鉄に含まれる炭素の量を減らし、鉄製大砲に必要な軟らかくて粘りのある鉄に変化させます。

今回から、「明治日本の産業革命遺産」の萩の5つの資産をシリーズで紹介していきます。



一般的な反射炉の構造図

■ **反射炉の構造と特徴**

19世紀史のなかの長州藩

道迫真吾（萩博物館主任学芸員）

世界遺産登録なるか？

萩市を含む8県11市の自治体は、23件の資産で構成する「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産（世界文化遺産）登録を目指している。去る5月には、ユネスコの諮問機関イコモス（国際記念物遺跡会議）が本遺産について「記載」勧告をした。

これは、本遺産が世界遺産登録にふさわしい物件であるという最高の評価を得たことを意味する。このお墨付がちょうど連休中であつたため、萩市には大勢の観光客が押し寄せた。大河ドラマ「花燃ゆ」の影響で観光客はすでに増加傾向にあつたが、世界遺産登録が目前に迫つたということもあつて、萩がより一層の注目を集めるようになったということであろう。本遺産は順調に行けば、今号の発行される7月初旬、ドイツのボンで開催されるユネスコ世界遺産委員会にて正式に登録されることになっている。

今回は、世界遺産登録の可能性が高い「明治日本の産業革命遺産」

のもつ意味について、特に萩の5つの資産の価値について説明を加えたい。このことは、本連載のタイトルである「19世紀のなかの長州藩」というテーマにも少なからず関係があるので、ぜひこの機会にと考えた次第である。

「明治日本の産業革命遺産」の特徴

日本は19世紀なかば、すなわち幕末における西洋技術の導入以来、西洋以外の地域で初めて、かつ、極めて短期間のうちに飛躍的な発展を遂げた。日本が産業化を達成したことは、現在、経済大国と呼ばれる日本の礎になるとともに、世界的な価値を有すると評価されている。

「明治日本の産業革命遺産」は、製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業の重工業部門に西洋技術を移転して成功した、日本独特のプロセスを示すもので、日本が「ものづくり大国」となる礎を築いた歴史を物語っている。この飛躍的な発展の大きな原動力となつたのが、アジア大陸に近いという地理的特性に

より、古くから海外との窓口として発展してきた九州・山口地域である。

本遺産は、8県11市という広域に分散する23資産で構成されており、わが国初の本格的なシリアルノミネーションであるところろに大きな特徴がある。「シリアル」(Serial)というの「一連の」あるいは「連続した」という意味をもつ英単語である。つまりシリアルノミネーションは、一連のストーリーに基づき、離れた複数の資産をまとめて世界遺産に推薦することを意味するのである。

また資産のなかに、民間企業により稼働中の大規模な工業関連施設が含まれている点も特徴として指摘しておかなければならない。こうした稼働資産までも世界遺産に登録するのは、世界を見渡しても稀なケースとなっている。

萩の産業化初期の時代の遺産群

「萩の産業化初期の時代の遺産群」は、「明治日本の産業革命遺産群」の8つのエリアのなかで第

一番目に掲げられている。萩の遺産群は、日本が産業技術を導入した初期の様相を証言するもので、萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、萩城下町、松下村塾の5つの資産で構成されている。

萩の遺産群は、幕末に西洋の技術を取り入れ、産業化を目指した地域社会の全体像とその特質を明瞭に表しているところに大きな価値がある。つまり、幕末当時の萩の地域社会が有していた、産業化に関する政治・行政・経済・技術・人材育成の諸要素を示しているのである。これらの諸要素をフルセットで見ることができると、本遺産のなかでも萩だけである。

また萩の遺産群は、長州藩の城下町であつた萩という地域社会が舞台となつて、日本独特のものづくり文化の形成と発展が始まつたことをも証拠づけている。

◆萩反射炉

萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡は、長州藩が試行錯誤しながら、自力で西洋技術を取り入れようとした産業化初期の様子を物語っている。

幕末、長州藩は、海防強化のため、鉄製大砲の製造と洋式軍艦の建造に取り組んだ。

反射炉は、鉄製大砲製造に必要なとされた金属溶解炉である。安政2年（1855）、長州藩は日本

で初めて反射炉を築いた佐賀藩に4名の使者を派遣し、その一人が反射炉の見取図を持ち帰った。翌年、その見取図を参考にして反射炉を試作的に築いたものの、費用面、技術面の限界から、本式の反射炉の建設を中止する。その後も本式の反射炉は築造されることなく、結局、鉄製大砲の製造は成功に至らなかつた。現在残っている遺構は煙突にあたる部分で、高さ10・5mの安山岩積み（上方一部はレンガ積み）である。反射炉の建築物が現存するのは、葦山（静岡県）と萩の2カ所だけである。

◆恵美須ヶ鼻造船所跡

また長州藩は、恵美須ヶ鼻に造船所を設置し、伝統的な和船の建造技術に西洋の技術を融合させて洋式の木造帆走軍艦を建造した。

長州藩は、幕府の要請や藩士木戸孝允の意見を受け、安政3年（1856）に造船所の開設を決定した。同年、伊豆の戸田村（静岡県）でロシア人とともに洋式船へダ号を完成させた経験のある船大工を招聘し、1隻目の軍艦内辰丸を建造する。ついで万延元年（1860）、長崎海軍伝習所でオランダ式造船を学んだ技術者に設計させ、2隻目の軍艦庚申丸を建造した。同時期の洋式造船所で遺構が確認された例は他になく、また1カ所でロシア系とオランダ系との2通りの技術が使用されたこ

とも類例がない。

◆大板山たたら製鉄遺跡

大板山たたら製鉄遺跡は、長州藩が洋式軍艦内辰丸を建造する際に用いた船釘や碇などの原料鉄を供給しており、幕末の洋式船建造に日本の在来技術が利用されたことを示している。

たたら製鉄は、千年以上前からある日本在来の製鉄技術で、砂鉄を原料にして木炭を燃焼させて鉄を生産していた。大板山では、宝暦期(1751~1764年)のうちの8年間、文化・文政期(1812~1822年)、幕末期(1855~1867年)の計3回、たたら製鉄が操業された。このうち、3回目の操業時に内辰丸に使用する鉄を供給した。原料の砂鉄は島根県から北前船を利用して奈古港に荷揚げされ、荷駄で



明治初年の萩城下町絵図(萩博物館蔵)

運ばれていた。現在、建物跡などの遺構が露出した形で整備されている。

◆萩城下町

萩城下町は、産業化に取り組み、産業文化を形成していった幕末当時の地域社会を現している。つまり、産業化を試みた江戸時代の伝統と身分制、社会経済構造を非常によく示しているのである。

資産は、江戸時代すなわち封建社会を特徴づける城跡、旧上級武家地、旧町人の三地区で構成されている。城跡は、藩主毛利家の居城で、長州藩の政治・行政の中心であり、反射炉の築造や洋式軍艦の建造など産業化の政策はここで形成された。旧上級武家地は、城跡とともに、長州藩の産業化や技術獲得などの政策を遂行した身分の高い武士の屋敷などがあつた場所である。旧町人地は、城下町およびその周辺で営まれていた商業活動や小規模な手工業を基盤とした当時の伝統的経済の姿を示している。

◆松山村塾

松山村塾は、産業化に取り組み、産業文化を形成していった幕末当時の地域社会における人材育成の要素を表す。西洋と日本の技術交流のメカニズムを示す典型的な見本でもある。

資産は、吉田松陰が門人を指導した、吉田松陰幽囚ノ旧宅と松下

村塾舎の2つの建物で構成されている。安政3年(1856)から安政5年(1858)までの約二年10カ月の間に、92名の門人が学んだ。松陰は塾生に対して、欧米の先進的な知識・技術の導入、工業教育の必要性を唱え、この教えを受け継いだ塾生たちによって日本の近代化・工業化が進められた。門人の一人である伊藤博文は、明治政府の初代工部卿となつて殖産興業を牽引した。伊藤は、工部卿在任中の明治10年(1877)に三井三池炭鉱に石炭の輸出を働きかけ、首相在任中の明治26年には製鉄所官制を公布し、明治33年、八幡製鉄所に建設中の高炉を視察した。このように、松山村塾は、本シリアルノミネーションの各構成資産とも深いつながりを有しているのである。

日本の近代化、工業化が極めて短期間に達成されたことは冒頭にも述べたが、これを単なるサクセスストーリー、あるいはお国自慢にしてはならない。近代化には国の内外で多大の犠牲が払われたことを決して忘れてはならないのである。世界遺産に登録された暁には、私たちはユネスコの精神に則り、平和な世の中を築いてゆくに、本遺産の光と影を正しく理解し、後世に継承していく責任を負うことになるのだ。

2015年 NHK大河ドラマ

特別展「花燃ゆ」7月20日まで 江戸東京博物館で開催中!

吉田松陰の妹、杉文(久坂文楫取美和子)を主人公とする大河ドラマ「花燃ゆ」と連動して開催する、特別展「花燃ゆ」。

松陰や文ゆかりの品を一堂に集めるとともに、同時代の貴重な歴史資料を紹介し、幕末維新时期を生きた長州藩士たちの人物像と、その時代を浮き彫りにする展示会で、萩博物館所蔵品35点や、松陰神社所蔵品19点も展示されています。

久坂玄瑞が文に送った手紙「涙袖帖」(個人蔵)も6月30日からの展示替えて、公開されます。7月20日まで開催中ですので、首都圏にお住まいの方はぜひ足を運ばれてはいかがでしょうか。

東京会場には新たな展示品も

木戸孝允が薩長同盟の内容を確認させるため坂本龍馬に裏書きを求めた書簡(宮内庁所蔵)や、1844年(天保15)に萩で铸造された下関戦争の際につかわれた「荻野流志貫目青銅砲」(フランスアンヴァリッド軍事博物館所蔵、下関市寄託)など、山口県立萩美術館・浦上記念館で5月24日まで開催されていた山口展で展示がなかった資料も約40点が公開されます。

内覧会には文役の 井上真央さんも来場

6月3日に行われた内覧会には、井上真央さんが参加。「命がけで演じないといけない」と改めて感じた」と展示を見学してコメント。野村興児萩市長も駆けつけ、「貴重な資料が集まり、見応えのある内容」と話しました。

◆特別展「花燃ゆ」東京展

7月20日(月・祝)まで
東京都墨田区横網1-4-1
江戸東京博物館
(03-3626-9974)

観覧料…一般1350円、大学生・専門学校生1080円、高校生・65歳以上680円

楯取素彦が初代県令を務めた 群馬県前橋市でも開催

▼特別展「花燃ゆ」前橋展
8月1日(土)~9月6日(日)
群馬県前橋市千代田町5-1-16
アーツ前橋
(027-230-1144)

(記事は編集の都合上、6月末時点の内容です)

小野興太郎さん

（萩市紫福在住、萩高校昭和39年卒16期、69歳）



こうたらう

皆さん既にご存じと思いますが、5月の連休中に、国際記念物遺跡会議（ICOMOS）から、「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産への登録が適切である旨の勧告が出されました。途端に、紫福の自宅から5〜6kmのところの山間にある「大板山たたら製鉄遺跡」にも、多い日には、150〜200人の観光客が訪れるようになりました。地元に住む人間にとつて、これは大変嬉しいニュースで、まして自分の専門領域と関係が深いこともあって、色々ボランティア活動を始めています。

私には、2011年3月に、島根大学を定年退職し、萩市紫福に帰ってきました。やり残した共同研究プロジェクトを進めながら、釣りや盆栽、晴耕雨読を楽しみながら、のんびりと第二の人生を過ごすのも健康に良いかと思っていました。同年10月には、山口国体が開かれましたが、思えば高校3年生の時にも山口国体が開かれ、開催会場の関係で運動会では中止、代わりの校内球技大会の閉会式で、中山校長先生の音頭で「赤

ふるさとへリターン

い夕日が校舎を染めつて〜」と歌った記憶などが甦り、帰郷気分浸っていたところ、世界遺産への登録申請が話題になってきたわけです。

研究者として

私の専門は、金属物性・材料科学という分野で、将来の基幹エネルギー源としての期待がある核融合炉での使用を想定した材料の開発基礎研究を行っていました。世界の日本の電子顕微鏡技術、動画像処理技術の発展など、タイムリーなラッキーチャンスに恵まれ、幾ばくかの足跡を残すことが出来たと思います。最近では、インターネットサービスのお陰で、自宅でも最新の電子ジャーナルが読めますし、欧米どこへでも簡単に論文を投稿できるのが有り難いです。一方、最近の大学は地域貢献が求められるようになり、島根の地場産業である特殊鋼の生産者の支援をするなかで、「和鋼博物館」や「日刀保たたら」などの伝統的たたらに関わる人たちとも交流してきました。お陰で大板山たたら遺跡にもすんなり取り組むことが出来たわけです。

大板山たたら・地域の皆さまとの取り組み

大板山たたらは、石見流の永代たたらで、宝暦年間、文化文政

期、幕末期の3回操業されたことが確認されています。砂鉄は、現在の浜田市井野から船や馬を使って大板山まで運ばれました。大板山が選ばれたのは、豊富な炭木が入手できたためです。幕末期には萩藩の準藩宮で、恵美須ヶ鼻造船所で建造された萩藩最初の洋式軍艦「丙申丸」の碇や建造具として使われました。これらの製鉄現場跡がほぼ完全な形で残されています。萩には、大板山たたら製鉄遺跡や、反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡をはじめ、産業人材を育てた松下村塾、その環境である城下町も「明治日本の産業革命遺産」の重要な構成資産として含まれています。この遺跡群の仕掛け人の一人で、世界の産業遺産の保存活用状況を調査研究されてきた加藤康子氏によれば、「産業遺産とは歴史をつくってきた産業文明の仕事、それに関わる人々の全人生」と定義されています。日本独自に発展したたたら製鉄技術、大砲製造を目的に一冊の蘭学書を頼りに悪戦苦闘した高炉・反射炉、明治政府の積極的な西洋技術の導入によって建造された官営八幡製鉄所など、真に明治維新を背景とした、幕末―明治期の人々の懸命な活動を示す証でもあると思います。

福栄地域には大板山たたら遺跡だけでなく、由緒ある神社仏閣、仏像、キリシタン祈念地、和牛や

阿武米、ブドウ、ワインなどの「お宝」があり、「福栄お宝マップ」も出ています。これらの観光資源を再認識し活用しながら保存し、地域の活性化に取り組もうという有志が集まり「福栄文化財活用保存会」を立ち上げました。会長に推されて暗中模索の日々ですが、観光ガイド、地域や学校での啓蒙活動、農産物の販売、たたら祭り、できれば「たたら復元操業」などを進めていきたいと思っています。現地には、トイレや駐車場も整備され、近くの道の駅「ハピネス福栄」からは、団体バス観光客向けのシャトルバスの運行も始まりますので、皆さま帰省の折には是非大板山たたら、福栄にお越しください。この冊子が皆様の目にふれる頃には、正式に世界遺産登録が実現していることを願っています。





オーダーメイドの家具づくり
工房 木象庵

藤田 浩司 さん
(萩高校昭和61年卒 47歳)

と思つていたところ、むつみ地域で住居も隣接した物件が見つかったことから、4年間の修業を終えて、平成25年4月に萩へ帰郷します。

しかし、8月の開業を目前に控えた7月28日に豪雨災害が発生。工房前を流れる川が氾濫し、住居や工房は胸の高さまで浸水してしまいました。私自身は近所の方の家に避難させていただきましたが、機械や工具は水と泥にまみれ、木材が散乱した工房の姿には大きなショックを受けました。

家具づくりで目指すもの

私が、家具制作で目指すものは、「荒々しさと緻密さの共存」です。切り出したままの木目や荒々しさが魅力である無垢材の良さを活かす、釘は使用せず、組手や仕口といった日本古来の伝統技術を用いることに加えて、約30種類のノミやカンナを使用し、細かな部分にまで手仕事を施します。そうすることで、機械では出せない木材の滑らかさや質感、美しい線が生まれ、触っても楽しんでいただける家具が出来上がるのです。

椅子一脚を作るにあたって、部材選定から始まり、天然桐油を塗装して仕上げるまでには2カ月ほどはかかります。こういった木工家具への考え方に共感して好きになつてもらい、見る度、使う度に違う喜びが湧き上がるような家具が作れたら良いですね。

もう一度、この地で頑張つていこうという気持ちになりました。幸い復旧に向けての支援金を受けることもでき、両親や親戚、友人をはじめ、ボランティアを含むたくさんの方たちに助けていただいたおかげで、当初の計画よりも4カ月遅れましたが、平成25年12月に工房を開業することができました。

木が生きた年齢と同じくらい使用できる家具を作らなければならぬと言われますが、一代と言わず、孫の代まで長く使ってもらいたいですね。私が生きている限りはアフターケアもさせていきますし、それだけ長く使っているだけの品質、制作方法を実践している自負はあります。

自然豊かなむつみ地域に佇む工房木象庵。手仕事にこだわりながら、オーダーメイドの家具づくりを行う木工職人・藤田浩司さんにお話を伺いました。

木工家具との出会い

私が木工家具職人を目指したのは、40歳のときです。それまでの私は、萩高校を経て名古屋工業大学を卒業し、東京でシステムエンジニアやシステムコンサルタントとしてキャリアを重ねていました。しかし、変化の速いIT業界に身を置くうち、自分の成果を目に見える形にして長く残せるような仕事をしたいと考えるようになり、36歳の時に会社を退職。

元々、山や木が好きだったこと

から、自然と関わり合いながら伝統工芸品などを作る職人になりたいたいと思い、日本中を旅しながら自分の今後を模索しました。そんな中、松江で造形作家として活動する方が作った木製家具に出会います。木材が持つ荒々しさの中にも美しさがある家具に一目惚れをしたのです。自分の作りたいものを見つけた私は、40歳の時、出雲高等技術学校木工科に入学し、木工の基礎を学びます。卒業後は、松江の造形作家の方のもとで修業。木の特性を生かして美しく見せる家具づくりを学びました。

豪雨災害を経て、

工房を開業

いずれは地元で工房を構えたい

の高さまで浸水してしまいました。私自身は近所の方の家に避難させていただきましたが、機械や工具は水と泥にまみれ、木材が散乱した工房の姿には大きなショックを受けました。

そんな中、浸水により斜めに傾いてしまった作業台の上で、2枚の天板を見つめます。それは、被災直前、工房での最初の作品として取りかかり始めたばかりの小さいテーブルの天板でした。一時は、むつみでの開業をあきらめようかと考えることもありましたが、荒れ果てた工房の中で、作業台から落ちることなく、整然と置かれたように残っていた天板を見て、「ちゃんと最後まで作ってくれよ」と私に語りかけているように感じ、

孫の代まで使える家具を

現在は、知人や友人を通して依



住所：萩市高佐下2-1-18
TEL：083888-80200
HP：http://mokusu-an.com



レストラン デンスケ

焼きそば定食 900円

店主 **河野 傳次郎** さん (69歳)
 ひさえ **久江** さん (66歳)



店の外観

てくれるわけではなく、見て覚えるしかなかった」と傳次郎さん。調理する様子を隣で見ながら仕事を覚え、3年ほど経った時に調理師の資格を取得しました。

傳次郎さんたちが店を始めた昭和50年代は景気も良く、商店街には百貨店や大手スーパーなどもあり活気がありました。周囲に飲食店も多かったですが、たくさんの家族連れや学生が訪れ、2階席もいっぱいになるほど。8人の従業員を雇用し、久江さんも厨房を手伝いつつ、接客も担当しました。

「当時はフル回転だった。朝早くから夜遅くまで、本当に忙しかった」と久江さん。しかし、平成に入ると、商店街にあった大手スーパーや百貨店が相次いで撤退。「昭和のうちは良かったけど、平成に入ってからあまり良くなかったね」と振り返ります。

体力の続く限り

現在は、2階席は開けておらず、1階のフロアを夫婦二人で切り盛りしています。昼時には、周辺の事業所などで働くサラリーマンや昔馴染みの客が多く訪れます。「だいたい顔を見れば、この人はこのメニューを頼むっていうのがわかる」と久江さん。常連客にもなる

と、メニューにない料理を頼む人もいたり、申し出がなくても、通常より薄味の料理を提供したりすることもあるといいます。連休や夏祭り、お盆には、多くの帰省客が懐かしの味を求めて訪れるため、手伝いを頼むほど忙しい。昔は、家族や友人と訪れていた客が、年を重ね、今では、子どもや孫を連れて訪れることもあり、デンスケを通して、様々なお客さんの人生にも触れてきました。久江さんとの会話を楽しみにやってくる客もおり、傳次郎さんが、「愛想が良いからね。いくら料理が良くて、接客が悪ければね」と言え、久江さんは傳次郎さんのことを「几帳面。きちんとやるから、長くやれたんやと思うよ」と話し、言葉少なに互いの労をねぎらいます。

昭和の時代ほど忙しくはないが、「今くらいがちょうど良いね」と話す二人。今後については、「二人の体力が続く限り。二人で細く長く」とのこと。その一方で、昔馴染みの客が帰省し訪れた際には、「来年もまた来るからね」と言ってお辞め。店を辞めたくても辞められない」と笑って話す夫婦の二人三脚はまだまだ続きそうだ。

レストラン デンスケ

住所：萩市東田町14・3
 ☎0838・25・3983
 営業時間：午前11時～午後8時
 定休日：木曜日 午後3時～、他不定休

田町商店街アーケードの正面に位置し、長年、昔懐かしい洋食屋として、地元の人たちに愛され続けているレストランデンスケ。40年もの間、店を切り盛りしている店主の河野傳次郎さんと妻・久江さんにお話を伺いました。

祖父の代から営む

可愛らしいコックの看板に、美味しそうな洋食サンブルが並ぶショーウィンドーが特徴のレストランデンスケ。どこか懐かしい佇まいが残る店内に入ると、笑顔で迎えてくれるのは妻の久江さん。そして、厨房で黙々と調理をするのは3代目の店主・傳次郎さんだ。「創業ははっきりとはわかりませんが、私が生まれる少し前だと思

ます」と傳次郎さん。

レストランデンスケは、祖父の傳助さんが、「河野傳助商店」として、食堂とアイスキャンデー、蒸気まんじゅう、果物などを販売する店を経営したのが始まり。傳次郎さんの両親も、祖父と共に

商店を経営しますが、幼い頃から、休みなく働く両親の姿を見て、傳次郎さんは家業を継ぎたくないと、萩商工高校を卒業後は上京。建築設備の設計事務所に就職し、給排水や冷暖房の配管などの設計を行っていました。そして、26歳の時に、同じく萩で生まれ育った久江さんと結婚。子どもも授かり、東京でサラリーマン生活を送っていました。当時、家業のほうは、両親が蒸気まんじゅう

レストラン デンスケの誕生

29歳の時に、家族と共に帰郷した傳次郎さんは、新たに建て替えた店舗で洋食レストランを経営することにしました。祖父の代から「デンスケ屋」と呼ばれて親しまれたことから、その愛称を受け継ぎました。傳次郎さんは調理師としての経験がなかったため、40代後半のベテランコックを雇用し、

経営をする傍ら、そのコックのもので修行をします。しかし、「仕事を覚えるのは大変だった。教え

「花燃ゆ」にちなんだ 日本画を萩市に寄贈

せいこう
日本画家 内田青虹さん
(萩高昭和28年卒)



[左から]村田昌志萩高校同窓会会長、野村興児萩市長、内田青虹さんと、寄贈作品(162×260cm)

萩市をまるごとPR!

「萩市シティセールスin東京」を開催!

NHK大河ドラマ「花燃ゆ」の放映や世界遺産登録の話題など、現在、萩市は全国から注目されています。

この絶好の機会に、萩市の産業、特産品、歴史、文化、豊かな自然などの魅力を首都圏に広く発信することで、観光客の誘客や移住促進、企業誘致、萩産品の販路拡大など、さまざまな分野での萩市のPRや発展を目指して「萩市シティセールス」を萩市ゆかりの地であるホテル椿山荘東京で開催します。

萩市出身の多くの皆さんの参加をお待ちしておりますので、ぜひお知り合いにお声かけください。

- 加もお待ちしておりますので、ぜひお知り合いにお声かけください。
- とき 平成27年8月6日(木)
- ▽ 受付 午後5時30分(予定)
- ▽ セミナー 午後6時(予定)
- R 野村興児萩市長による萩市のPR
- ▽ 交流会(立食パーティ) 午後7時(予定) 歴史パフォーマンス、萩市産の食材や地酒でおもてなしなど
- ところ ホテル椿山荘東京(5階オリオン)
- 東京都文京区関口2丁目10-8
- 03-3943-1111
- 参加費 5000円(当日受付で支払い)
- 定員 50人
- ◆ 申込期間 7月13日(月)～7月24日(金)
- ※ 定員に達し次第締め切り。
- 申込方法 電話、またはFAX、メールに、氏名・住所・電話番号を明記のうえ萩市商工振興課内萩市シティセールス実行委員会へ申し込み
- ※ 参加者の方には、後日事務局から時間など詳細について連絡します。



会場となる椿山荘東京

■ 問い合わせ 萩市商工振興課内 萩市シティセールス実行委員会
TEL: 0838・25・3811 FAX: 26・0716
メール: syoukou@city.hagi.lg.jp

萩市橋本町出身の日本画家、内田青虹(本名・恵美子、東京都在住)さん(80歳)が、大河ドラマ「花燃ゆ」の放送に合わせ、「幕末・熱き心の女たち」を、5月30日に萩市に寄贈されました。

作品は、2003年に制作されたもので、城下町を一望できる松陰誕生地に、赤ちゃんを背負う鉢巻き姿の母親や、下関を指さすらしい女性が描かれています。文久3年(1863)、攘夷決行に対する諸外国の報復

から萩城下を守るため、藩士の妻や奥女中まで参加して菊ヶ浜土塁(女台場)を築いた、郷土を守る「萩女」の心意気がテーマとなっており、寄贈の翌日31日の大河ドラマ「妻と奇兵隊」(第22話)のストーリーに重なる寄贈となりました。

歴史画の第一人者

内田さんは、萩高昭和28年卒(5期、旧姓・富田)で、現在は西東京市在住。40歳を過ぎながら本格的に水墨画をはじめ、

その後日本画に転向、歴史上の人物を描く歴史画の第一人者として活躍されています。

なお、母校萩高校に2001年に「今昔様変わり 夢幻の如し」、2011年に「松陰先生・立志前進」を、また2003年には須佐之男・荒ぶる神から「須佐の男・荒ぶる神から善神に」、2009年には松陰神社至誠館に「吉田松陰」を寄贈いただいています。また画家としてだけでなく、萩高同窓会「東京指月会」の副

会長や防長俱樂部評議員も務めるなど、ふるさとと東京を繋ぐ役割も果たしておられます。

寄贈式で内田さんは、「萩の女性として、郷土を守る萩女の心意気を描かないといけないと思った」と話し、寄贈を受けた野村萩市長は、「ドラマの展開に合うような寄贈に驚いている」と喜びを語りました。

寄贈作品は、7月下旬頃から「花燃ゆ 大河ドラマ館」で展示される予定です。

平安古の松原

樹齢200年以上の 藩政時代を知る老松が伐採



クレーンを使い伐採作業中の老松（5月26日）



2004年頃の平安古の松原



（5月27日）

5月下旬、萩を代表する景観の一つ、「平安古の松原」で知られる、平安古の橋本川沿いの、樹齢200年以上と推定される松の古木が伐採されました。

江戸時代から残る松は市内に数本といわれ、その中でも最大級のものとして知られており、平安古の松原のシンボリックな存在でした。この松の幹廻りは最大約5m、高さは30m近くある、市内でも最大級の松でしたが、昨年10月末に落雷に遭い、幹に亀裂が入り始め、今年3月頃から葉が茶色になり枯れ始め、このまま放置すると危険があるため、惜しまれながら

も伐採することになりました。

ここは、かつて立派な松並木が続いていました。萩城下町絵図に描かれているものもあり、江戸時代の終わり頃に防風林の役割などで植栽されたものと思われます。松の林立と、川面に映る景色は萩ならではの風景を形作っていました。現在では松枯れなどにより、櫛の歯が欠けたような状態になっており、植樹も行われています。

今回、伐採して空いた場所にも、松食い虫に強い苗木を植え継ぐことで、萩の遺産ともいえるべき松原の風景をこの先何百年も守っていきます。

豪雨災害からの 復旧・復興に向けて



小川交流センター「みのり」(平成27年6月中旬)



被災時の旧小川支所
(平成25年7月23日午後1時頃)

萩市東部に甚大な被害をもたらした、平成25年7月28日の集中豪雨災害から間もなく2年が経過します。萩市では、合併後最大の試験と位置づけ、合併した7地域が一体となり、総力を挙げて、一日も早い復旧・復興に取り組んでいます。

小川地区の復興のシンボル 小川交流センター「みのり」

萩市東部集中豪雨災害から2年の節目となる7月28日、小川交流センター「みのり」が竣工します。これは、被災により復旧が困難だった萩市小川支所や小川コミュニティセンターなどを、小川地域内の安全な場所に移転・新築したものです。地域資源を活用した交流や地域コミュニティ活動の拠点とともに、消防団田万川第二分団の消防器庫、災害時の緊急避難場所などの機能も備えた複合施設として整備しました。太陽光発電システム、蓄電池、ハイブリッド街

路灯なども設置し、安心・安全にも配慮した施設となっています。地域の農産物や人々の交流が、みのりあるものになるようにとの思いが込められ、愛称は「みのり」に決定。これから小川地区の復興のシンボルとして、地域の拠点となることが期待されています。

■小川交流センター「みのり」
▽鉄骨造2階建（延床面積963・85㎡）
▽交流促進室、調理実習室、会議室、図書コーナー、談話コーナー、ほか
■問い合わせ
萩市文化・生涯学習課（0838・253590）

ライオンの ホームページで 萩の暮らしが紹介！

大手化学メーカーライオン株式会社のホームページ内の生活情報メディア「リディア」で、7月から、「暮らさるし」をめぐる旅in山口」と題して、萩の受け継がれてきた文化や暮らしが紹介されます。

藍場川沿いの旧湯川家屋敷などで水を大切にしていた昔の暮らしや文化が今に残っていることから、萩が舞台に選ばれました。

旧湯川家屋敷では、水を引き込み、台所や風呂場で利用してきたことを紹介。ライオンのお洗濯マインスター山縣義文さんが、藍場川で灰汁を使つての昔の洗濯や食器洗いなどを実演。山縣さんは松下村塾の井戸でもタライを使った洗濯の様子を紹介されます。

このほか、明倫小学校1年生の松陰先生の言葉の朗唱風景や萩博物館なども紹介。「萩にゃん」も、「ライオンちゃん」と登場します。

■LION生活情報メディアLead ea（リディア）
▽アドレス <https://idea.today/>



藍場川で実演する山縣義文さん

花燃ゆと世界遺産を紹介
萩のオリジナルフレーム切手が2種販売!

日本郵便中国支社では、大河ドラマ「花燃ゆ」の放送に合わせて、オリジナルフレーム切手「文と萩物語」を、6月8日に発売しました。

■発売部数 各3000部(予定)
■シート構成 1シート82円×10枚

また、イコモスから世界遺産登録の勧告を受けた「明治日本の産業革命遺産」のうち、萩の5資産を取り上げた、オリジナルフレーム切手「萩の産業遺産群」を、7月1日に発売します。

■販売価格 各1230円
■販売場所

窓口での購入は山口県内の一部の郵便局に限られますが、萩市観光協会が通信販売を行います。

▽「文と萩物語」山口県内の各郵便局(宇部、山陽小野田市の一部を除く)
▽「萩の産業遺産群」萩市、阿武町、長門市、美祢市、山口市の一部(旧阿東町)の郵便局

今しか入手できない、萩ゆかりの2つのオリジナル切手です。ぜひこの機会に手に入れてみてはいかがでしょうか。

■通信販売 送料込みで1590円、詳細は萩市観光協会(0838・25・1750)
■問い合わせ 日本郵便中国支社(082・224・5991)

大河ドラマゆかりの人物
など紹介「文と萩物語」

文のイラストをはじめ、ゆかりの人物や場所等に関連したデザインとなっています。



世界遺産登録に期待!
「萩の産業遺産群」

萩反射炉や松下村塾など、萩の5資産などを紹介したデザインとなっています。



★萩市観光協会から「文と萩物語」、「萩の産業遺産群」を各5名様にプレゼント(応募方法は、P15)

新たな魅力を生み出す人材
萩市地域おこし協力隊員募集中!

萩市でも少子高齢化と人口減少が進み、地域再生が課題となっています。地域外の人材を活用して地域力の維持・強化を促進し、定住・定着を図るための地域おこし協力隊員を全国から募集中です。

【求められる経験・人材等】

- ▼新事業を企画・プロデュースした経験や、観光や旅行関連業界で活躍した経験など
- ▼萩市の魅力を新しい視点から見いだせる方、新たな観光資源化や事業化を推進できる方
- 活動内容(活動地域)
- ① 観光交流事業に関する活動(萩市全域)
- ▽観光関連イベントやガイドの支援、「萩のおたから」を保存・活用

した取り組み支援など

② 農山漁村地域での地域づくり活動(須佐または福栄地域)

▽須佐地域:豊かな自然や「須佐男命いか」など食を生かした観光振興、ジオツーリズムの推進など

▽福栄地域:地域の伝統や環境の保存・保全活動、農業後継者不足の解消の仕組みづくりなど

■対象者 都市地域等に住民票を有する、または他地域で地域おこし協力隊員として2年以上活動し任務を終えて1年以内の方で、採用後に萩市に住民票を異動して居住し、期間終了後も萩市に定住し、就業・起業する意欲があるなど

■募集人員 8人

■任期 9月1日〜平成28年3月

今年人は社会も!
Uターンも歓迎、萩市職員を募集

萩市職員として、将来の萩を担う、やる気に満ち溢れた人材を全国から募集します。

市外で働いている方や、ふるさと萩で経験を生かして活躍したい方は、ぜひチャレンジしませんか。

■募集期間 7月15日〜8月14日

■募集職種/受験資格

▽社会人経験者(事務、土木)

高校卒業以上で35歳以下、社会人

経験が5年以上の方
▽初級事務・土木
高校卒業以上で25歳以下の方
▽保育士・管理栄養士
短大卒業以上で30歳以下、有資格



31日(着任日は要相談。成果等により最長3年まで延長可)

■雇用形態 萩市嘱託職員(非常勤特別職)、1日7時間45分、週4日勤務(土・日・祝日勤務あり)

■報酬 18万円(月額)

■福利厚生等 社会保険等に加え、原則、住居(家賃上限あり)や業務上必要な物品等は市が用意

■選考等 書類選考のうえ、7月下旬に面接により決定

■申込方法 7月14日までに、申込書(志望動機や自己PRを1000字以内で記入)、市販の履歴書を郵送、持参

※その他の条件など詳しくは、萩市ホームページ(http://www.city.hagi.jp)をご覧ください。

■問い合わせ

萩市企画政策課

(0838・25・3342)

者または資格取得見込者

※年齢は平成28年4月1日時点。

■試験日・場所 (1次) 9月20日(日)、(2次) 10月下旬頃、いずれも萩市役所

■合格発表 10月下旬

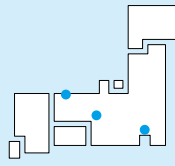
■採用日 平成28年4月1日

※詳しくは、7月15日以降に萩市ホームページ(http://www.city.hagi.jp)をご覧ください。

■問い合わせ

萩市総務課人事係

(0838・25・1239)



情報
ください！

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。
hagi-network@city.hagi.lg.jp

会員投稿

4月4日 萩本陣(萩市)

萩高14期同期会



今までで最多の同窓生 72 人が出席。1 年生で転出した南家勝見君が和歌山より出席、55 年ぶりに逢うなど、今回は 30 ~ 40 年ぶりの出席者が多かったです。また今回もデンマークから山根攻君が帰国して出席。

今年度で 72 歳になるわれわれ 72 人が出席というのも何かの縁でしょうか。399 人の卒業仲間のうち、50 人が逝去。2 年後の皆の再会を楽しみに！ 中原洋士(萩市在住)

会員投稿

4月19日 吉乃翔(東京都中央区)

指月中 8 期 (昭和 30 年) 卒業生関東地区在住者の集い



すっかり恒例となった関東在住の指月中 8 期生の同期会を今年も銀座で開催しました。

今回は、遠く岡山から馳せ参じた方、「卒業中学は違うが高校は同じ」萩高 10 期生で関東在住の 3 人の方々の参加を頂き、合せ 14 人が集りました。

萩高卒お三方の特別参加もあって会の雰囲気も今までとは変わり、お互い共通の話題を求め、往時の萩での話から今に続く話へと語りあう楽しい集いとなりました。最後に「指月中」校歌の歌声の中、指月中 8 期生は、また来年の再会も約して別れた卒業から 61 年目の同期会でした。

山口雄三(横須賀市在住)

会員投稿

5月20日・21日 萩本陣(萩市)

萩商工34会2015in萩

萩商工商業科昭和34年卒



萩商工高等学校商業科昭和 34 年卒同窓会「萩商工 34 会」は、萩と県外が 2 年ごとの交互引き受けで開催してきましたが、卒業後 56 年経ち相応の年齢となったこともあり、全体同窓会は今回引き受けで最後とすることになりました。

5 月開催の同窓会には卒業生 108 人のうち 41 人が参加し、青春時代の想い出話や恩師の話などで盛り上がり楽しいひとときを過ごしました。

懇親会の翌日は萩観光協会ガイドさんの案内で萩市内観光をしましたが、素晴らしいガイドぶりに全員目から鱗が落ちました。

全スケジュール終了後、お互いの健康と再会を約して散会しました。 代表幹事 藏貫忠孝

会員投稿

4月26日 551蓬萊(大阪市中央区難波)

おおさか三見会



第 3 回おおさか三見会に 18 人が集いました。新しい人が 3 人加わり、子どもの頃の話、学校の話、兄弟姉妹の話、近所の話から新しい道路にびっくりの話迄、近々に帰った人が話します。次から次へと懐かしい話から新しい話へと留まることはありませんでした。

三見公民館から「公民館だより」がたくさん送られてきましたので、各々が手にして、また盛り上がり、来年の再会を誓って一本締めでヨォーパン、握手を交わしながら会場を後にしました。 三嶋千代乃(大阪府在住)

つばき会関西支部総会 6月20日

大阪キャッスルホテル(大阪市中央区)



57人が出席。中原洋支部長(35年商業卒)が「つばき会として5回目の開催。末永く発展させたいので皆さんの力添えを」とあいさつ。池田誠次つばき会本部長からは、昨年のラグビー部全国大会出場の際の支援のお礼と、7人制ラグビーで県代表となり7月の全国大会に出場するとの報告がありました。役員改選が行われ、新支部長に窪田末男さん(41年工業卒)が就任。参加者は、思い出話や近況報告、ビンゴ大会やカラオケで大いに盛り上がり、最後は、応援団長だった長光肇副支部長(55年商業卒)のエールで会を締め括りました。

須佐郷土史研究会 東京支部の「花燃ゆ」東京⇄須佐交流ツアーが行われました

6月22日から24日まで、2泊3日の日程で、須佐郷土史研究会東京支部の会員17名が須佐に帰郷しました。平成23年4月に東京須佐史談会から須佐郷土史研究会東京支部として新たに出発し、須佐と首都圏とが一体になり須佐の文化や歴史を研究するために活動しておられます。

今回の帰郷は、「東京・須佐花燃ゆツアー」と題し、皆さんにとって懐かしい須佐地域を中心に、萩市内の史跡等を探訪。23日には、禁門の変に須佐兵300人が参戦した関連史跡や、須佐湾遊覧船で海からのジオツアーを楽しみました。午後は石州口の戦いの関連史跡等を見学、夜には地元の研究会会員と交流を図りました。24日には萩博物館や大河ドラマ館を見学、また花燃ゆの関連史跡などを探訪しました。

40～50年ぶりの帰省となる方もおられ、たっぷり3日間、郷里の歴史と美味しい料理を堪能されました。



ちかのぶ
禁門の変の責任を負った益田親施を祀る笠松神社(須佐)

ふるさと萩・小川会 5月31日

ニューオータニイン東京(東京都品川区)



25人出席。平成4年に第1回を開催し、今年は23回目。佐伯雅人会長から「皆さんに喜んでいただける会にしたい。個人情報保護の関係で若い会員確保に苦慮しており情報提供を。」とあいさつ。萩から駆けつけた和田眞教副市長と美原嘉大市議会議員から提供された澄川酒造の東洋美人で乾杯。最年長参加は92歳の波田義信さん。出席者全員の近況報告やカラオケなどで、会は終始和やかな雰囲気に包まれました。

萩光塩学院同窓会関東支部(光友会)総会 6月14日

中野サンプラザ(東京都)



大学生など若い方々も多く65人が参加。安藤久枝会長の挨拶、中村柔道校長の祝辞に続き、乾杯。恩師の皆さんも多く参加され、懇談では、終始和やかな雰囲気の中、各テーブルでは思い出話に花が咲きました。途中、会員の新谷さんの「萩紫福の隠れキリシタン」と題した研究発表や、萩光塩学院の前身である修善女学校の創設に花燃ゆ主人公「文(楳取美和子)」がかかわったことなどの話題、小嶋先生の歌などもあって大いに盛り上がりました。最後に全員で校歌を歌って、またの再会を約して散会しました。

●●● 会員の声から ●●●

「私は椿東生まれ、育ちです。花燃ゆで新しい萩を知り、今までの知識不足を感じています。これまで萩市前小畑の反射炉についての記事が皆無です。埋もれた歴史資産だと思いますので、ネットワークで取り上げてください」という会員の声がありました。

ご意見を参考にして、今号から、「明治日本の産業革命遺産」のうち、萩の5つの資産をシリーズで紹介することにしました。

情報アラカルト

関東地区

■東京指月会

関東地区の萩高同窓会。

10月24日(土) 午後2時30分

東京都千代田区丸の内(東京駅丸の内北口)

日本工業倶楽部

(090-7264-6954)三浦

■NHK大河ドラマ「花燃ゆ」東京展

7月20日(月・祝)まで

東京都墨田区横網1-4-1

江戸東京博物館

(03-3626-9974)

■竹にフォーカスしたイベント

萩の竹を活用した家具、小物品の展示、販売。

7月1日(水)～14日(火)

東京都新宿区新宿3-14-1

伊勢丹新宿本店本館5F家具ショップ

(03-3225-2702)

■12代三輪休雪展「折り」

7月8日(水)～14日(火)

東京都中央区日本橋室町1-4-1

1 日本橋三越本店本館6階美術特選画廊

(03-3241-3311)

■金子司 陶展 ひやされたかたち

7月8日(水)～14日(火)

東京都中央区銀座4-6-16

銀座三越8階ギャラリー

(03-3562-1111)

■特殊音楽祭2015

萩ふるさと大使で作曲家山本和智が中心で行われる音楽祭。ゲストに新垣隆氏を迎えて開催。

7月11日(土) 開場：午後2時、

開演：午後2時30分、終演：午後

6時

一般3000円、学生500円(要

学生証提示)

※完全予約制

東京都町田市金井町2160

和光大学学生ホール

(044-988-1431)

■8代岡田裕・泰父子展

7月15日(水)～21日(火)

埼玉県川越市新富町2-6-1

丸広百貨店川越店

(049-224-1111)

■せたがやふるさと区民まつり

萩市から岸田商会のちよんまげビール、忠小兵衛からかまぼこ等が販売されます。

8月1日(土)～2日(日) 午前

11時～午後9時

東京都世田谷区上用賀2-1-1

JRA馬事公苑

■NHK大河ドラマ「花燃ゆ」前橋展

8月1日(土)～9月6日(日)

群馬県前橋市千代田町5-1-16

アーツ前橋

(027-230-1144)

■家具インテリアフェスティバル

家具の展示。タケクリエイト、ハギから、「萩の竹」を活用した家具および小物品が展示、販売。

8月21日(金)～23日(日)

神奈川県横浜市区西高島2-18-1

そごう横浜店9階 新都市ホール

(045-465-2111)

■三輪和彦 個展

9月10日(木)～15日(火)

東京都豊島区南池袋1-28-1

池袋西武百貨店

(03-3981-0111)

北信越地区

■水津和之 陶展

萩焼の展示、販売が行われます。

8月19日(水)～25日(火)

富山市総曲輪3-8-6

大和富山店5階コミュニティギャラリー

(076-424-1111)

■水津和之 作陶展

萩焼の展示、販売が行われます。

9月1日(火)～7日(月)

新潟市中央区西堀通5番町866番地 新潟三越6階工芸サロン

(025-227-1111)

関西地区

■水津和之 陶展

萩焼の展示、販売が行われます。

7月29日(水)～8月4日(火)

大阪市北区角田町8-7

阪急うめだ本店7階美術画廊

(06-6361-1381)

■線描画 田村覚志 個展

7月にパリで開催のJapan expo

に出品される田村覚志の個展。

9月5日(土)～13日(日)

京都市中京区寺町通夷川上ル西側

久遠院前町671-1 寺町エース

ビル1F西

Gallery 1 (ギャラリーアイ)

(075-200-3655)

中国地区

■広島指月会

広島地区の萩高同窓会。

7月11日(土) 午後5時～

広島市南区的場(広島駅から徒歩

5分)

ホテルセンチュリー21広島

(082-287-1506) 西村

■つばき会広島支部総会

広島地区の萩商工同窓会。

9月12日(土) 午後6時30分

広島市南区金屋町1-17

ワークピア広島(旧広島労働会館)

(080-6332-1159) 土佐

岡

■山口伝統工芸展選抜展

野坂康起、波多野善蔵、波多野

英生、岡田裕、岡田泰の作品が展

示されます。

7月21日(火)～27日(月)

広島県広島市中区基町6-27

大河ドラマ「花燃ゆ」巡回展

「花燃ゆ」の見所を紹介します。

■静岡展

7月8日(水)～12日(日)

静岡市民ギャラリー

■鹿児島展

7月19日(日)～29日(水)

NHK鹿児島放送局ハートプラザ

■秋田展

8月2日(日)～5日(水)

NHK秋田放送局ハートプラザ

■札幌展

8月7日(金)～12日(水)

NHK札幌放送局ハートプラザ

■松江展

8月15日(土)～22日(土)

鳥根県美術文化センター

■さいたま展

9月7日(月)～13日(日)

川越まつり会館

■奈良展

9月17日(木)～30日(水)

NHK奈良放送局ハートプラザ

そごう広島店美術画廊

(082-225-2111)

九州地区

■九州指月会

九州地区の萩高同窓会。

9月12日(土) 正午

福岡県福岡市博多区博多駅東2-

1-1

博多都ホテル

(093-201-6303) 廣瀬

■12代三輪休雷展「折り」

7月28日(火)～8月3日(月)
福岡市中央区天神2・1・1
福岡三越9階岩田屋三越美術画廊
(092・724・3111)

萩市関係

■萩高同窓会八八会

萩高指月会の本部総会。今年の引受期は52期(平成12年卒)。
8月8日(金) 午後7時～
萩高校体育館
(0838・222・0076) 井町

■萩光塩学院同窓会本部総会

萩光塩学院小中高の合同総会。
8月10日(月) 午後6時30分～
(予定)

■山口県現代工芸美術展

吉賀將夫など山口県在住の現代

新規(再)加入会員

- 形井悦子さん (大阪府南河内郡)
 - 石飛孝道さん (萩市)
 - 江口伊織さん (東京都品川区)
 - 佛原絹江さん (広島県広島市)
 - 野稲正さん (千葉県千葉市)
 - 榎淑子さん (奈良県奈良市)
 - 久村恵子さん (兵庫県姫路市)
 - 中村敏浩さん (兵庫県西宮市)
 - 松本恭子さん (大阪府河内長野市)
 - 和田眞教さん (萩市)
 - 小林恵美さん (奈良県大和郡山市)
- (4月25日～6月24日 11人)

工芸作家の陶芸などを展示。

9月27日(日)まで 午前9時～午後5時

萩市椿東426・1
吉賀大盾記念館
(0838・265・5180)

■須佐・男命いか直売市

大人気の男命イカの直売。売り切れ次第終了です。

7月5日(日)～9月27日(日)の間の土曜日、日曜日、祝日(予定)
午前9時30分～(整理券午前8時30分から発行)

萩市須佐 須佐漁港
山口県漁協須佐支店
(08387・6・2311)

■夏休み親子ふれあい萩焼づくり教室とはぎやきのお話し

萩焼作りと萩焼の話が楽しめられます。

7月19日(日)、26日(日) 午前10時～11時20分
大人1500円、小・中学生1200円

※作品は8月下旬に引き渡し。
▽申し込み予約受付期限

・7月19日開催 7月16日まで
・7月26日開催 7月24日まで

萩市堀内萩城跡
城山窯萩焼陶芸教室
(08388・25・1666)

■米原祥三展
書の展示が行われます。

9月3日(木)～28日(月)
萩市川島295

藍場川の家

(08388・266・1536)

■山本みゆき「萩の月」
萩に住む女性が好きな人を追いかける切なさを描いた曲。

カップリング曲「萩物語」には藍場川や菊ヶ浜など萩一色のCD。価格 1200円(税込)

テレビ情報

■英雄たちの選択「ニッポンを創った2つの魂」
幕末の二大主人公・長州藩と会津藩に注目し、なぜ激しく対立したのか、それが明治維新に何をもたらしたかを徹底説明。

7月30日(木) 午後7時30分～8時59分(89分)
NHK・BSプレミアム

DVD情報

■大河ドラマ「花燃ゆ」第5集発売
現在放送中の、萩が舞台の大河ドラマ「花燃ゆ」がブルーレイ&DVD化。

本編549分+特典(ブルーレイ・DVDとも3枚組)
主演 井上真央、大沢たかおほか
発売日 8月19日(水)
価格 1万2900円(税別)

プレゼント

萩市観光協会から、オリジナルフレーム切手「文と萩物語」と、オリジナルフレーム切手「萩の産業遺産群」をそれぞれ5名様

■応募方法 ハガキに品名、住所氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。7月24日(消印有効)。

お詫びと訂正
萩ネットワーク5月第123号(14ページ) 情報アラカルトの水津和之さんのお名前に誤りがありましたので訂正してお詫びします。(誤) 水津和弘→(正) 水津和之

ブックレットシリーズ

萩ものがたり

④5 吉田松陰の妹・文 (美和)



山本栄一郎(防府史談会理事) 510円
吉田松陰の妹として生まれ、15歳で松陰の一番弟子久坂玄瑞と結婚。22歳で久坂と死別し、41歳のとき、松陰の親友で、姉の夫だった楯取素彦と再婚。苦難の前半生から、一転貴族夫人となったシンデレラ。杉文・久坂文・久坂美和・杉美和・楯取美和子と五つの名前をもつ女性の初の小説。

④6 藩校明倫館



小川國治(山口大学名誉教授) 510円
享保4年(1719)に長州藩が開校した藩校明倫館は、藩士の子弟を教育し、有為な人材を輩出する。さらに、幕末期に外圧の危機が迫る中で、長州藩は、明倫館の移転・拡充を行い、嘉永2年(1849)に新明倫館の落成式を挙げる。新明倫館は、新たな時代に対応するため、洋学の受容の拠点にもなる。

申し込み 一般社団法人 萩ものがたり事務局
☎0838・25・3233

イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

7月11日⑩～8月23日⑩ 9:00～17:00

◇むつみ昆虫王国 むつみ昆虫王国

7月26日⑩ 9:30～15:00

◇ひまわりロードフェスタ むつみ・ひまわりロード

7月28日⑩ 20:00～

◇須佐湾大花火大会 須佐漁港

8月1日⑤～3日⑤

◇萩夏まつり 住吉神社・吉田町ほか

8月1日⑤ 20:00～

◇萩・日本海大花火大会 菊ヶ浜海水浴場

8月13日⑤ 19:30～22:00

◇萩・万灯会（迎え火） 大照院

8月25日⑩ 17:00～

◇たまがわ夏まつり 山口県漁協江崎支店前



むつみ昆虫王国

ひまわりロード



萩・夏まつり

1日目の菊ヶ浜での花火大会を皮切りに、3日間にわたり連日盛り上がります。2日目は市民総踊り「ヨイショコショ」パレードやよさこいなど多くの市民が参加。3日目は「住吉神輿」、「踊り車」、「のんた大提灯パレード」、山口県無形民俗文化財に指定されている「お船謡」が会場を練り歩きます。特設ステージでは、ゆかた美人コンテストなども開催されるなど、イベントが盛りだくさんです。



萩・日本海大花火大会

日本海の夜空に約7000発の色鮮やかで豪快な花火が舞い上がります。尺玉や1000連発打ち上げ花火など見どころ満載で、まわりに障害物のない海岸線から見る花火は大迫力です。

萩・万灯会

萩藩主毛利家の菩提寺である大照院と東光寺を舞台に開催される「萩・万灯会」。萩の夏の風物詩として、毛利氏の菩提を弔うため、13日（迎え火）は大照院で、15日（送り火）は東光寺で、それぞれ約500基を超える石灯籠に火を灯し、幻想的な世界が広がります。



大照院「迎え火」

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

「図変り」大皿の世界 伊万里染付の美

8月16日(日)まで
大画面に表した図柄の迫力、構図の面白さ、大胆かつ繊細な筆致による大皿の魅力は、宴席など「ハレ」の場を華やかに飾りました。江戸時代の職人の精緻な仕事ぶりも伝わる約140点の「図変り」大皿をたっぷりご紹介いたします。
■観覧料 一般1,000円、70歳以上の方・学生800円、18歳以下無料



木版画家 立原位貫 一江戸の浮世絵に真似ぶ

8月29日(土)

9月27日(日)

伝統的な画材の紹介や複製作品と原画の浮世絵を並べて鑑賞する展示に加え、オリジナルの版画作品もご覧いただけます。

萩博物館だより

☎0838・25・6447

特別展 ベっぴん！美形いきもの帳

一世にも美しい生物の秘密ー



7月4日(土)～9月6日(日)
「美しい！」と絶賛されるいきものたちが一堂に大集合。その数、約500種類。標本、剥製、写真など約1500点。生物たちはなぜ美しいのか？どうやって美しさを発揮するのか？その本当の姿や生態を知っていく中で、彼らと友達となり、真の美しさとは何かに気づいていく体験型展示会です。
■観覧料 大人510円、高校・大学生310円、小・中学生100円
◎年中無休

「明治日本の産業革命遺産」と萩

9月19日(土)～11月29日(日)

「明治日本の産業革命遺産」に含まれる23件の構成資産全体の中で萩の5件の資産がどのように位置づけられているかを紹介します。